



## I. 支援事業概要

支援事業名	マラウイ共和国 チンディンディンディ中学校へのソーラーランタンご寄贈
支援事業地	マラウイ共和国 北部州 ムジンバ県 チンディ市
寄贈品	ソーラーランタン 120 個
寄贈日	2021 年 3 月 11 日
報告対象期間	2021 年 12 月 1 日 ~ 2022 年 12 月 31 日

## II. 事業地背景

### 【マラウイ共和国について】

マラウイ共和国はアフリカ大陸の南東に位置する内陸国です。北海道と九州を合わせたほどの面積(11.8 万 km<sup>2</sup>)で南北に細長い国土に、約 40 の部族、1,900 万人ほどの人々が暮らしています。公用語はチェワ語と英語で、人口の約 80%がメイズやたばこ生産などの農業に従事する農業国であり、宗教はキリスト教が主流です。イギリスから 1964 年に独立した後、約 30 年にわたって一党独裁が続き、1994 年に複数政党制導入を伴う民主的な選挙が初めて行われて現在に至っています。経済的には一人当たりの GNI(国民総所得)が 360 米ドルで、217 カ国中 191 位(世銀、2019 年)と、世界の最貧国の一つに数えられています。

### 【チンディンディンディ中学校について】

チンディンディンディ中学校のある北部州ムジンバ県は、マラウイ共和国の首都であるリロングウェから約 270 km北に位置しています。貧困の厳しい地域ですが、地域の土壌は肥沃で、川からの水を利用した灌がいも行われており、農業に適した環境にあります。ワールド・ビジョンは子どもたちが健やかに成長できる環境整備を目指し、支援事業地であるチンディ市を含む地域にて 2006 年から 2021 年までクーユ地域開発プログラム(以下、ADP)を実施し、様々な分野で活動を行ってきました。教育分野では、中学校の校舎建設や教材の提供、教師の養成などを通じた教育の質の向上、コミュニティの住民への啓発活動を行いました。その一環として、本中学校の女子寮建設も行いました。

本中学校には中学 1 年生~4 年生(日本の中学 3 年生~高校 3 年生に相当)の生徒 229 人が在籍しています。当地域の他の多くの中学校と同様に事業開始当初、本校には電気が通っておらず、生徒たちが集中して学習できる環境が整っていませんでした。ランタンのご寄贈前は、日が出ていない間は学習が難しいほか、暗い教室を利用して女子生徒に性的な嫌がらせをする男子生徒がいるなどの問題がありました。懐中電灯を所有している生徒もいましたが、電池の買換えは生徒たちの負担となっていました。

## III. 配布状況と受益者

### 【配布状況】

2022/12/31 時点

配布場所	当初	前回の報告 (2021 年 11 月)	今回の報告 (2022 年 12 月)	
			配布数	受益者
教室(4 室)	40 個(各教室 10 個)	予定通り	同左	229 人 (全校生徒)
学校敷地内のトイレ(2 棟)	4 個(各棟 2 個)	予定通り	同左	
教員室	5 個	予定通り	6 個	

キッチン	4 個	2 個は設置済みです。残り 2 個は現在建設中のキッチンに設置予定のため、学校職員が保管しています。	2 個は設置済みです。	2 人(料理人)
女子寮	65 個 ※各女子生徒 1 個(計 40 個)、各部屋 1 個(計 10 個)、廊下 5 個、給水スペース 5 個、トイレ・シャワールーム 5 個	55 個 ※現在女子寮に滞在中の女子生徒 30 人に配布しました。寮の定員は 40 人で、2022 年 1 月に新入生が入学予定なので、残り 10 個は寮内で保管しています。	60 個 ※現在女子寮に滞在中の女子生徒 31 人に配布しました。	31 人 (寮に滞在している女子生徒)
警備室	2 個	予定通り	1 個 ※現在 1 人着任しており、もう 1 人が採用され次第配布予定。	1 人(警備員)
合計	120 個	120 個 (うち 12 個は保管中)	114 個 (うち 1 個は保管中) ※故障のため 6 個減	269 人 (生徒と学校関係職員の合計)

#### IV. 成果

指標	ベースライン	前回の報告 (2021 年 11 月 報告時の情報)	今回の報告 (2022 年 12 月)
放課後学習に参加している生徒の数	84 人(男子 39 人、女子 45 人)	97 人(男子 48 人、女子 49 人)	160 人(男子 97 人、女子 63 人)
放課後の平均学習時間	2 時間	3 時間	3 時間
政府が実施する中等課程修了試験に合格する生徒の数	受験者 24 人中 10 人(男子 6 人、女子 4 人) / 合格率 42%	今年度の試験 2022 年 1 月実施予定	受験者 15 人中 8 人(男子 4 人、女子 4 人) / 合格率 53%
教室で、以前よりも安心して学習できるようになったと感じている生徒の数	(値なし)	100%	100%
女子寮で、以前よりも安心して滞在できるようになったと感じている生徒の数	(値なし)	100%	100%

- 教室にランタンが設置されたことで、女子生徒の安全性が向上しました。多くの女子生徒は安心して勉強する環境が整えられたことにより、放課後も学校に残り、宿題を終えてから帰宅するなどしており、女子生徒の学業成績は著しく伸びています。また、教員室にランタンが設置されたことにより、教員が授業の準備を

行う時間が増え、授業の質が高まったことも学習成績の向上に役立っています。

- 事業開始前は女子寮に滞在している生徒は懐中電灯を使っていましたが、電池交換にかかる費用は自分で負担していました。ランタンの寄贈により、電池交換による経済的な負担が減ったほか、ランタンがあることにより夕食を食べたり、夜にシャワーを浴びたりする際に安心できるようになりました。
- キッチンにランタンが設置されたことにより、早朝に給食を準備する際や女子寮の夕食を準備する際の効率が大幅に上がりました。
- 警備員による夜間の警備が容易になりました。警備の目が行き届くようになり、事業が開始してからは盗難事件や学校施設の破損などの事件は起きていません。

### 【写真】



ランタンを手にする女子寮に滞在している生徒



新しく建設されたキッチン

### 【受益者の声】



### 女子寮に滞在しているダイアナさんとシャニカさん

女子寮に入る前は2人の学業成績が芳しくありませんでした。ダイアナさんによると、ランタンを寄贈してもらってから、学業により多くの時間を使うことができるようになったとのこと。シャニカさんは、ランタン(とフェンス)が女子寮に設置され、男子生徒から性的な嫌がらせを受ける危険性が低くなり安全に感じていると話しています。2人の成績はランタン設置後から大きく改善し、クラスの中でも良い成績で試験を合格できるようになりました。

※学校の周りのフェンスは、WV マラウイによる支援によって建設されたものです。

注：上記の受益者の名前は仮名です。

(以上)